

## 抗菌剤の慎重使用に努めましょう

### 薬剤耐性菌とは

薬剤耐性菌とは「抗菌剤が効かない細菌」です。抗菌剤の使い過ぎなどにより増加します。



### 畜産への関わりは？

抗菌剤は動物用医薬品その他、飼料添加物として使用されています。家畜への抗菌剤使用により増加した薬剤耐性菌は、抗菌剤が効かなくなるため動物の治療が困難になります。

### 人への影響

薬剤耐性菌は畜産物を介して、人に感染することがあります。その場合も抗菌剤が効かないため治療が困難で、重症化することがあります。



### わが国の薬剤耐性菌対策

わが国は平成28年4月に今後5年間に取り組むべき対策をまとめた行動計画(アクションプラン)を決定しました。

農林水産省は、平成29年3月、食品安全委員会のリスク評価において人に悪影響をおよぼす恐れがあるとされた抗菌剤については、飼料添加物としての指定を取り消す指針を策定しました。

・コリスチンの飼料添加物としての指定を取消し使用を禁止しました。(平成30年7月1日)※動物用医薬品としては使用可

・平成29年9月、食品安全委員会においてテトラサイクリンのリスク評価が開始され、現在評価が行われています。

・モネンシンは人に悪影響を及ぼすおそれがないとされ、飼料添加物として引き続き使用が可能です。

抗菌剤の慎重使用のため次の4つのポイントに取り組みましょう。

## 1 感染症を予防する

飼養衛生管理基準を順守し感染症を予防しましょう。

- 1 施設内の洗浄消毒
- 2 ワクチンによる予防
- 3 十分な飼養スペースの確保
- 4 適切な栄養管理

## 2 家畜の状態を把握する

毎日家畜の状態を観察し、家畜の状態を正確に把握しましょう。



## 3 獣医師に伝える

獣医師が適切に診断できるよう、異常が発生した時の状況、過去の感染症の発生状況などを詳しく伝えましょう



## 4 抗菌剤を正しく使用する

抗菌剤は獣医師からの指示に従い、用法・用量を正しく守りましょう。残った薬剤はただちに廃棄しましょう。

飛騨家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL:0577-33-1111 FAX:0577-32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

